

田無 **社会問題講座**
社会問題をみつける講座
～編集者になろう～

本をつくるプロセスを体験的に学びます。ノウハウを知り、「編集力」を体得しよう。

「答え」ではなく、「問い」をみつける講座です。

時 10時～12時

場 田無公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 10人(申込多数の場合は抽選)

講 川崎昌平(作家・編集者)

申 2月8日(木)17時までに電話かメールで田無公民館へ



回	月日	内容
1	2/17(土)	「編集」ってなんだろう～問題点を発見するための「編集」～
2	2/24(土)	企画を考えよう～どんな情報を誰に伝えるのか～
3	3/4(日)	構成案を練ろう～情報の整理術「目次」の重要性～
4	3/10(土)	表紙をデザインしよう～情報の「顔」の重要性～
5	3/17(土)	講評(企画書と表紙案の鑑賞、意見交換)

谷戸 **谷戸の自然と文化を学ぶ講座**
「紫草」復活プロジェクト連続講座

絶滅危惧種「ムラサキ」の栽培と紫根染めにチャレンジしませんか？

時 2月28日(水)・3月14日(水)
13時～17時 全2回

場 谷戸公民館

対 市内在住・在勤者

定 20人(申込順)

講 大河内 徹(小江戸むらさき研究所代表・旭日小綬章受賞者)

申 2月5日(月)9時から電話で谷戸公民館へ

柳沢 **くるみ学級の学級生を募集します**

柳沢公民館では知的に障がいのある方の余暇活動を支援しています。活動では調理、音楽、スポーツなどを通じて仲間との交流を深めます。詳細については、柳沢公民館へお問い合わせください。

保谷駅前 **防災講座**
まな
きほんから学ぼう
みんなの防災

地震や火事、大雨などの災害はいつ起きるかわかりません。起きた時、どうしたらいいでしょう？どんな準備をしたらいいのでしょうか？ みんなで学びましょう。

時 土曜日 14時～16時

場 保谷駅前公民館

対 西東京市に住んでいる人を優先

定 20人(申込順)

申 2月5日(月)10時から電話かメールで保谷駅前公民館へ



回	月日	内容	講師
1	2/17	避難行動について、ゲームで学ぼう	清水彩香(国土防災技術株式会社)
2	3/3	防災について、きほんを知ろう	西東京市危機管理室 山辺真理子(NPO法人西東京市多文化共生センター代表)
3	3/10	「防災マップづくり1」保谷駅周辺を歩いて、自分の地域を目で見て学びます	中村清美(国土防災技術株式会社)
4	3/17	「防災マップづくり2」前回歩いて知ったことをもとにマップづくりをします	
5	3/24	消防署の人と一緒に避難訓練をします	西東京消防署



柳沢 **〈共催事業〉子ども対象地域防災講座**
もしものときのサバイバルクッキング

大きな地震がおきて、電気やガス、水道が使えなくなったら、どうしますか？ 身近にあるものを使って、カレーライスをつくってみましょう。

時 2月21日(水)15時～17時

場 保谷柳沢児童館

対 市内在住の小学生(東伏見小学校・保谷第二小学校の学区在住者優先)

定 24人(申込順)

講 小野修平(防災アドバイザー・ジョージ防災研究所代表)

持 エプロン・三角巾・手拭きタオル・上履き

申 2月7日(水)15時半から受け付けます。本人が、直接、保谷柳沢児童館(柳沢2-6-11 ☎042・468・7892)に来て申し込んでください。

※保谷柳沢児童館との共催事業

柳沢 **教養講座 Part2**
真冬の自然観察会
～狭山丘陵のバードウォッチングに出かけよう～

冬の凛とした空気。狭山丘陵一帯の雑木林や湖の自然観察会に出かけてみませんか？ 生態系の王者オオタカに会えるかも？

時 火曜日

場 柳沢公民館ほか

対 市内在住・在勤・在学者

定 20人(申込多数の場合は抽選)

講 名執修二(日本野鳥の会奥多摩支部)

¥ 自然観察会現地までの交通費

持 弁当・双眼鏡(あれば8倍程度のもの)・防寒具・筆記用具など

申 2月7日(水)12時までに電話で柳沢公民館へ
 ※第1回参加が自然観察会参加の条件です。



回	月日	内容
1	2/13 10時～12時	事前学習とオリエンテーション「バードウォッチングを通じて自然について考えよう」※野鳥観察の基本(双眼鏡の種類・マナー等)※狭山丘陵の自然と保護活動※観察会に向けてのオリエンテーション
2	2/20 9時～13時	狭山湖(水鳥の楽園)土手沿いとトトロの森の自然観察会
3	2/27 9時～13時	さいたま緑の森博物館(里山をテーマにしたフィールドミュージアム)一帯の自然観察会

柳沢 **第13回人形劇フェスタin西東京の参加団体・個人・運営ボランティア募集!**

「子どもたちが、気軽に人形劇を楽しめる機会を西東京に根づかせたい」と願う市民が集まって企画運営するおまつりです。

一緒に子どもたちを笑顔にしませんか。

第13回人形劇フェスタ in 西東京

時 7月実施予定

※日時など詳細は実行委員会にて決定

場 柳沢公民館

対 ①市内を中心に活動している人形劇団体・個人
 ②運営に興味のある方

申 3月30日(金)17時までに電話かメールで柳沢公民館へ

※第1回実行委員会は4月実施予定

東伏見駅の北側、バス通りにあるコンビニの脇道に入ったところにカフェ兼多目的スペース「西東京クラフトベース」(以下「NCB」)があります。木の肌が露出する内装が、訪れる人をあたたかく迎えてくれます。この主が、小菅亜実さんです。小菅さんは、地域で三代続く工務店のプロジェクトリーダーでもあります。お客さんの窓口対応から、現場の職人さんの取りまとめまで、工務店の仕事を総括する重要な役割を担っています。工務店の仕事は、人が過すための「場」をつくることです。長く愛着をもって過ごしてもらえる「場」こそが、人の交流を呼び、地域につながるをもたらす。そう考える小菅さんが、「場づくり」の「場」をつくる

西東京
なう
DIYの
こころ
～自らつくる場～
 ※DIY=do it yourself



小菅 亜実さん (31歳・富士町在住)
 ※このコーナーでは地元にかかわりながら生きる若者を紹介します

提案として始めたのが「NCB」です。カフェとして飲み物を提供するほか、ワークショップスペースの提供、共同・自主企画イベントの開催などもしています。今までに、スマホスタンドやイスを木工作するワークショップも行いました。小菅さんは、仕事と趣味の境目がわからないといいます。仕事につながりそうだと感じるものが、何かを始めるときの動機になっているそうです。「外出先での企画のヒント探しに興味ですかね(笑)」と言って、取材の終わりにエプロン姿でコーヒールをいれてくれました。手づくりのテーブルで味わう一杯のコーヒーが、ひとときの「場」をつくりだしました。

ボク電車大好き!
 おやじとみんぼ
 2歳の息子は電車が好き。休日は親子で電車に乗りに行きます。最近では、ロマンスカーで江の島まで行きました。モノレールが好きなので、帰りは遠回りして湘南モノレールにも乗りました。車窓からの景色をとても楽しんでいました。お気に入りの遊びは電車屋さんごっこ。車掌さんになった気分です。社内アナウンスの真似などとして親子で遊んでいます。本物の車掌さんさながらの言葉



真由美さん、直太郎くん(2歳)

い回しはほほえましいと思つと同時に、好きなことへの観察力に驚かされます。子育てはちょっと大変と思うこともあるけれど、小さな虫や日常使うものにも気持ちや寄せて語りかける息子の様子はとてもおもしろく、優しい気持ちになります。この純粋な心そのままに育ってほしいと願っています。